

平成30年度社会福祉法人南砺市社会福祉協議会事業計画

地域共生社会の実現のために、地域福祉座談会等を通し地域課題を探り共有し一緒に考え、この度、第3次南砺市地域福祉活動計画(5年計画)を策定、1年目のスタートを切ります。

引き続き「ふれあい支えあい 安心して暮らせる あたたかい福祉のまちづくり」を基本理念とし、「支えられ 支えあう やさしいまちづくり」というスローガンのもと、支える側の視点だけでなく、支えられる側にも思いを寄せた計画となっております。

そこに住む誰もが、お互いに支え合い、助け合い、寄り添いあえる地域共生社会づくりを進めて行くよう、より実効性のある取り組みに重点配分しました。

平成29年度 of 社会福祉法改正により、組織の執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会の役割がより明確になり審議いただいております。また、他の社会福祉法人と共に公益的的事业に取り組むことも求められることとなり、市内8法人と共に地域のための公益活動について協議を開始し、その体制づくりを進めております。

また、少子、高齢、独居等の増加による生活困窮者等の要支援者も増えており、地区で見守りされながら、行政や市社協による地道な個別支援がますます重要となっております。

地区の方々には福祉面でお互い様の助けあい活動も増えておりますが、人口減少等による様々な取り組みが官民協働で進められており、地区ではこれらの活動を支えていただく方々に過大な負担がかからないように、地区社協活動面からも配慮が必要です。市社協としてもますます行政や関係機関との連携を図りながら民生委員・児童委員を始めとする地域のお世話方の身になって支援させていただきます。

○基本理念 「ふれあい支えあい 安心して暮らせるあたたかい 福祉のまちづくり」

スローガン 「支えられ 支えあう やさしいまちづくり」

【第3次南砺市地域福祉活動計画 実施1年目】

[1]社会・地域福祉活動への参加促進

◇誰もが担い手として活躍できる地域づくり

地域福祉サポーターと職員が共に地区へ出かけて、相談に応じたり新たな担い手を見つけたりして地区の福祉活動を進めます。

◇誰もが気軽に集える居場所づくり

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に集える場が作れるように一緒に考え、情報提供等を行います。

また、サロン世話方への研修会を開催し、使いやすい助成金を検討します。

[2]生活支援の充実

◇「たすけて」と言える地域づくり

「支え合いマップづくり」で、支援を必要とする人と支援する人のつながりが見える化し、地区の福祉課題について情報共有する場をつくります。

支援を必要としている方へ情報が届くよう、総合相談所などの事業を周知します。

[3]情報提供と相談窓口の充実

◇気軽に相談できる関係・環境づくり

ふくし総合相談事業を継続するほか、地区で相談ごとが持ち込まれているサロン等に出かけて相談に対応します。

また、福祉サービスの利用を支援する生活支援員を養成します。

[4]地域で支えあう仕組みづくり

◇身近な地域で助ける輪づくり

民生委員・児童委員、地域福祉推進員、地域福祉サポーターなど福祉活動者からの相談に応じ、専門機関と連携して解決を図ります。また、地域住民と関係機関との情報共有の場を

積極的につくります。

支え合いマップづくりやそのフォローアップ事業を行い、ケアネット活動と合わせて支援を考えます。

◇人と地域のつながりづくり

世代間の「ふれあい」や「つながり」を目的とした「交流・ふれあいの場づくり」を推奨し、広報や社協まつりで紹介します。

◇地域組織の連携強化

市レベルの各種団体や行政関係部署との連絡会および地区社協の連絡会を開催します。

31地区で第3次南砺市地域福祉活動計画を説明し、地区の福祉活動計画づくりを進めます。

[5]地域でできる福祉サービスの開発と普及促進

◇外出困難な人への移手段の確保

地区社協単位で買い物を含めた外出支援の仕組みをつくるため、外出や移動に関するニーズを調査します。

[6]福祉教育の推進

◇福祉意識を高める仕掛けづくり

ふくし出前講座や社協まつりを開催し、福祉活動への理解を広めます。

また、福祉活動の視点や方法を学ぶ機会として、地域福祉セミナーや支え合いマップづくり実践講座を開催します。

[7]災害時対策の推進

◇災害時に活かせるつながりづくり

災害時の視点を支え合いマップづくりやケアネット活動に盛り込んで話し合います。

[8]防犯・事故防止対策の推進

◇子どもから高齢者までの安全・安心な見守り体制づくり

支援の必要な人について、地域住民と関係機関が情報共有する場を積極的につくります。

事業名	(1) 法人運営事業		
予算額	30年度 65,295千円	29年度 62,693千円	増減 2,602千円
内容	<p>①本所、支所の運営管理 事務所を管理運営する。車両9台を維持管理する。</p> <p>②理事会の開催(年4回程度) 業務執行上の事項及び当面する課題について協議する。</p> <p>③評議員会の開催(年4回程度) 業務執行上の重要事項について審議、決定する。</p> <p>④評議員選任・解任委員会の設置 理事会の推薦を受けて評議員の選任及び解任について審議し、決定する。委員3名で構成する。</p> <p>⑤監査会の開催(年4回) 運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査をする。</p> <p>⑥役員研修の実施 法人運営や地域福祉事業への理解を深めるため社会福祉協議会役員研修を実施する。</p> <p>⑦経営基盤の強化 社会福祉協議会会員(一般会員・特別会員・賛助会員)の増強を図る。</p> <p>⑧職員研修体制の充実 内部研修及び外部研修への参加により職員の資質向上を図る。 外部研修の報告会(フィードバック)を行い、職場内の情報共有や資質向上を図る。</p> <p>⑨指定管理者制度への対応 城端老人福祉センター「美山荘」(指定管理期間:H30.4.1~H33.3.31)、平デイサービスセンター、上平デイサービスセンター、利賀デイサービスセンター、五箇山ホームヘルプステーション、平生活支援ハウス(指定管理期間:H29.4.1~H36.3.31)の指定管理を受ける。</p>		

	<p>⑩実習生の受入れ 県内外福祉大学や社会福祉士養成施設からの相談援助実習指導を受託する。 (180時間の実習 受入実習生：年間3名程度) 近隣県で開催される実習指導者講習会を受講し、実習指導者を増やす。</p> <p>⑪苦情解決体制 苦情解決へ適切に対応するための内部体制をもつとともに、社協外の体制として第三者委員3名を設置する。</p> <p>⑫職員12名の人件費</p>				
事業名	(2) 委員会活動事業				
予算額	30年度	101千円	29年度	845千円	増減 Δ744千円
内容	①地域福祉活動計画の評価 地域福祉活動計画の進捗状況を評価、検証し、意見交換を行う評価委員会(地域福祉活動計画推進会議)を開催する。				
事業名	(3) 基金運営事業				
予算額	30年度	3,908千円	29年度	4,620千円	増減 Δ712千円
内容	①地域福祉振興積立金の管理 地区社協へ助成するための取崩、及び事業収益の積立。				
事業名	(4) 退職手当積立事業				
予算額	30年度	8,678千円	29年度	7,958千円	増減 720千円
内容	①全国社会福祉団体職員退職手当基金 職員29名の加入。				
事業名	(5) 名士作家作品頒布事業				
予算額	30年度	1,200千円	29年度	1,500千円	増減 Δ300千円
内容	①名士作家作品頒布展の開催 富山県内外の名士名僧作家からご寄付いただいた作品を地域の方々に頒布し、その収益を福祉事業に活用する。				
事業名	(6) 地域総合福祉活動推進事業				
予算額	30年度	48,713千円	29年度	54,567千円	増減 Δ5,854千円
内容	<p>①地域総合福祉推進事業(ケアネット型)助成 要支援者に対する見守りなどの活動費や、活動者や地域住民を対象とした研修会等の経費として、31地区社協へ上限25万円を助成する。</p> <p>②ケアネットセンター運営事業 ケアネット活動を実施する地区社協を支援するため、ケアネットセンターを設置している。地域住民へケアネットを周知する活動や、要支援者の生活ニーズに対してケアネット協力者と一緒に支援内容を計画する活動を行う。また、多職種連携によって要支援者の在宅生活を支援していく。 ケアネット活動コーディネーター1名のほか、地区担当のコミュニティーソーシャルワーカーを配置。</p> <p>③【強】地域福祉活動計画(1年目)の推進 住民参加による地域福祉づくりを計画的かつ着実に推進するため、各地区の福祉活動計画の作成に取り組む。</p> <p>④地域福祉セミナーの開催 地区社協関係者ほか広く住民を対象に開催し、支え合えるまちづくり、人づくり等の地域福祉の重要性について理解を深める。</p> <p>⑤地区社協連絡会の開催 市内31地区社協の役職員を対象に、地区社協事業に関する活動発表や研修、意見交換をして活動の進展を図る。</p> <p>⑥ふくし出前講座の開催 社協事業を周知し福祉活動への理解と協力を得るため、職員による出前講座(9講座)を開催する。地区社協や学校、団体からの申込みを年間を通してできるだけ応じる。</p> <p>⑦いのちのバトン事業 市民の安心と安全を守るため、引き続き事業の周知を図る。救急医療情報用紙の更新。</p> <p>⑧職員12名の人件費 (ケアネット活動コーディネーター1名を含む)</p>				

事業名	(7) 地域福祉ネットワーク事業			
予算額	30年度 6,064千円	29年度 5,563千円	増減	501千円
内容	<p>①【強】 支え合いマップづくり実践講座 地域住民がご近所の要支援者や地域課題、社会資源を住宅地図に書くことで把握し、住民同士の支え合いの仕組みづくりと地域のつながりを強化する。 新たに4地区での取り組みと、これまで実施した地区へのフォローアップを行う。</p> <p>②買い物支援事業 買い物バスの運行を継続するほか、支え合いマップ作りやアンケート調査から見えた買い物や移動のニーズについて、社会資源を活用しながら地域の実情に応じた仕組みづくりを検討する。</p> <p>③地域福祉サポーター交流会 (23)の交流会を開催し情報交換を行い、地域福祉活動への参加意欲向上を図る。</p> <p>④【新】居場所づくり事業 年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に集える居場所づくりを進める。閉じこもりを予防し、出かけることで周囲に相談ができ、個々の課題解決に向けて取り組むための居場所づくりを目的とする。先進地より講師を招き、市民を対象とした講演会を開催し、事業の必要性を周知する。また、県内市町村への視察等を行い、南砺市内での実施に向けて取り組み方を検討する。</p> <p>⑤職員1名の人件費</p>			
事業名	(8) 総合相談所運営事業			
予算額	30年度 1,155千円	29年度 1,200千円	増減	△45千円
内容	<p>①ふくし総合相談センターの設置 市民の相談を総合的に受ける窓口を本支所に設置し、職員が随時対応する。</p> <p>②心配ごと相談・法律相談の定期開催 心配ごと相談員による心配ごと相談(8地域 年間44回)、弁護士による法律相談(月1回)を開催する。 相談カレンダーを作成し、市民への周知を図る。 専門機関とも連携し、相談内容の解決に努める。</p>			
事業名	(9) 障害者社会参加事業			
予算額	30年度 306千円	29年度 330千円	増減	△24千円
内容	<p>①障害者社会参加支援事業 在宅障がい者を対象に閉じこもりの予防と社会生活力の向上を図るため、参加者が主体的に取り組む事業を行う。また、障がい者も参加できるサロン形式の集いの場を設ける。</p> <p>②障害者理解促進研修・啓発事業 障がいへの理解を深め、障がい者を支援する人材を育成するための「障がい者寄り添い講座」を開催する。</p>			
事業名	(10) 福祉入門教室			
予算額	30年度 411千円	29年度 420千円	増減	△9千円
内容	<p>①手話奉仕員養成講習会[入門編 全24回]の開催 手話の経験のない方を対象に講習会を実施する。講師は手話通訳者やろう者など。耳が聞こえないことへの理解を深め、生活の中で手話を使って日常会話ができるようになることをめざして開催する。 ※南砺市井波総合文化センター(榎ホクタテ高岡支社)へ業務委託</p>			
事業名	(11) 地区社協助成事業			
予算額	30年度 5,810千円	29年度 5,340千円	増減	470千円
内容	<p>①地区社協助成 地区社協活動の根底を支えるため、市内31地区社協へ運営費として助成する。</p> <p>②地区社協活動活性化事業助成 地域福祉振興積立金を活用し、地区社協が行う小地域福祉活動へ助成する。</p>			

事業名	(12) ボランティア助成事業					
予算額	30年度	900千円	29年度	900千円	増減	0千円
内容	①ボランティアグループ助成 ボランティアグループへ活動費として上限3万円を助成する。 助成総額は40万円。 ②市ボランティア連絡協議会助成 市ボランティア連絡協議会の活動費(8支部の研修費)へ助成する。					
事業名	(13) 各団体助成事業					
予算額	30年度	1,215千円	29年度	1,269千円	増減	△54千円
内容	①各種団体活動へ助成 南砺市遺族会 738千円 南砺市遺族会福光支部 140千円 井波招魂社奉賛会 151千円 南砺市老人クラブ連合会 186千円 (総額1,215千円)					
事業名	(14) 外出支援サービス事業					
予算額	30年度	944千円	29年度	719千円	増減	225千円
内容	①外出支援サービスの実施 要介護度3以下の車椅子が必要な方を対象に、福祉車両による医療機関への送迎を支援する。3事業所で福祉車両3台を維持管理する。					
事業名	(15) 高齢者交流サロン事業					
予算額	30年度	8,625千円	29年度	8,458千円	増減	167千円
内容	①高齢者交流サロン事業 地域の身近な場所で、参加者相互の交流を通し介護予防と健康増進を図る。また、地域の中でのふれあいや助け合い推進の拡大をねらう。 ・ふれあいいいききサロン、らくらくサロンへの助成 集落や校下単位で実施しているサロン団体へ助成と活動支援を行う。 ・サロンの集いの開催 サロンのお世話方を対象に、活動紹介や活動内容の情報提供などを行い、サロン関係者の交流を図る。 ・サロン機材整備と貸し出し サロン活動機材の貸出整備と周知を図る。 ②介護予防型サロン事業 65歳以上の虚弱な高齢者や認知症が心配な高齢者を対象に、脳トレや体操、入浴、食事、送迎付きの「高齢者サロン」を週1回程度2カ所(城端・福野)で開催。介護予防と生きがいづくりを図る。					
事業名	(16) 高齢者福祉施設交流事業					
予算額	30年度	3,230千円	29年度	3,818千円	増減	△588千円
内容	①高齢者福祉施設交流事業の開催 市内に住む65歳以上の高齢者を対象に、老人福祉センター等福祉施設を利用し、地域単位の高齢者交流サロンを開催する。(市内8地域) 担当職員間の情報共有を図り、内容の充実を図る。					
事業名	(17) 高齢者生きがい対策事業					
予算額	30年度	972千円	29年度	1,335千円	増減	△363千円
内容	①スポーツ教室等委託事業 城端、利賀、井口、井波、福野、福光の6地域で実施。スポーツや娯楽を通して健康づくりや、生きがい持って元気な生活を送ることを目的に実施する。 ②農園活動 城端、井波、福光で3地域で実施。農園活動を通して、健康やふれあいの増進を図るとともに、生きがいを見出して楽しく過ごすことを目的に実施する。					

事業名	(18) 敬老会		
予算額	30年度 5,213千円	29年度 5,259千円	増減 Δ46千円
内容	<p>①敬老会の実施 市内27会場(地域単位5か所、地区単位22ヶ所)で開催。満75歳以上を対象とし、式典・アトラクションを実施する。米寿者には祝い状を贈呈する。 ※H29年度…対象者9,873名(内米寿者428名)、参加者2,983名(内米寿者194名)</p>		
事業名	(19) 高齢者相談対策事業		
予算額	30年度 3,908千円	29年度 4,253千円	増減 Δ345千円
内容	<p>①生活支援コーディネーター・協議会運営業務の受託 (地域包括ケア課の生活支援・介護予防事業より) 生活支援コーディネーターの配置5名(人件費50,000円×12ヵ月×5生活圏域)ネットワークの構築として第2層協議体の設置、運営。</p> <p>②高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業の受託(地域包括ケア課より) 市地域包括支援センターからの依頼により、高齢者の自宅へ訪問し、実態把握調査を行う。また、相談を受けたケースについて包括システムへ入力し、関係機関との情報共有を図る。</p>		
事業名	(20) ボランティアセンター運営事業		
予算額	30年度 2,111千円	29年度 2,762千円	増減 Δ651千円
内容	<p>①ボランティアセンターの運営、センターの基盤強化 ボランティアセンター運営委員会を設置し、ボランティア関係事業について意見交換を行う。また、ボランティア活動場所へ訪問し、実態把握に努める。 ボランティアセンター登録、ボランティア保険の加入受付等の手続きのほか、ボランティア活動の需給調整や助成金申請等の相談支援を行う。 システム等による情報発信の仕組みを整える。</p> <p>②【強】ボランティア活動参加の促進 市内にボランティア・福祉を広めるという趣旨に賛同する団体を募集し、活動発表や体験などを通してボランティア活動の普及啓発を図るため、なんと社協まつりを開催する。 3年継続テーマの最終年度であり、特に若い世代の参加を促し、福祉意識を啓発する。 平成30年10月6日(土)／南砺市井波総合文化センター</p> <p>③福祉教育の推進 福祉教育・ボランティアを担当する教職員、地域福祉サポーターを対象に、地域のつながりの必要性について学ぶ学習会を開催する。</p> <p>④災害救援ボランティア活動の周知 災害救援ボランティアセンターの役割、運営方法について学び、立ち上げ訓練を実施する。南砺市総合防災訓練に参加し、災害救援ボランティアセンターの周知を行う。</p> <p>⑤ボランティア受入れ施設との連携強化 ボランティアを受け入れている施設の相談支援を行う。 施設ボランティア受入れ研修会を開催し、研修や情報交換を行う。</p>		
事業名	(21) ボランティアコーディネーター設置事業		
予算額	30年度 18,000千円	29年度 19,660千円	増減 Δ1,660千円
内容	<p>①ボランティアコーディネーターの設置 社協職員4名をボランティアコーディネーターとして設置し、ボランティア活動の推進を図る。</p>		
事業名	(22) 児童生徒のボランティア活動普及事業		
予算額	30年度 960千円	29年度 960千円	増減 0千円
内容	<p>①児童・生徒のボランティア活動普及事業 市内の小中学校、高等学校、支援学校 全21校を福祉教育推進校とし、ボランティア活動普及のための補助金を交付する。</p>		

事業名	(23) 地域福祉サポーター活動事業					
予算額	30年度	620千円	29年度	620千円	増減	0千円
内容	<p>①地域福祉サポーターの設置 地域の身近な相談員として地域住民や地区社協を繋ぎ、市社協と情報共有しながら地域福祉活動を推進する。 地区社協会長より各地区2名推薦を受け、市社協会長より委嘱。</p>					
事業名	(24) 共同募金一般募金配分事業					
予算額	30年度	4,582千円	29年度	4,452千円	増減	130千円
内容	<p>①高齢者ふれあい訪問事業 75歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯を対象に、配食ボランティアや食生活改善推進員・民生委員等と協力しながら手作りおはぎや饅頭等を届け、見守り声かけ訪問を行う。</p> <p>②ドリンクサービス事業の実施 市内の障がい者施設の方を対象に、地域で行われるサロンや会議においてコーヒーやお茶を出す機会を提供することで社会参加の促進を図る。また、地域住民の障がい者理解を深める。</p> <p>③社会福祉大会の開催 式典において、永年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰する。</p> <p>④ボランティアフェスティバル(なんと社協まつり)の開催 (20) ボランティアセンター運営事業へ助成</p> <p>⑤広報紙の発行 社協の事業や地域の福祉活動、ボランティア情報などを地域の方へ広く伝えるため、毎月広報紙を発行し、全戸配布する。</p> <p>⑥外出支援サービス事業へ助成 (14) 外出支援サービス事業へ助成</p> <p>⑦公募事業の実施 たすけあい・支えあえる地域づくり事業を実施する任意団体を公募し助成する。</p>					
事業名	(25) 歳末たすけあい配分事業					
予算額	30年度	6,465千円	29年度	6,915千円	増減	△450千円
内容	<p>①歳末たすけあい友愛訪問事業の実施 地区社協と協力し、支援を必要とする方への声かけ訪問を行う。</p> <p>②歳末生活支援金支給事業の実施 申請により、生活困窮世帯への生活支援金支給を行う。</p> <p>③公募事業の実施 たすけあい・支えあえる地域づくり事業を実施する任意団体を公募し助成する。</p>					
事業名	(26) 生活困窮者自立支援事業					
予算額	30年度	5,267千円	29年度	701千円	増減	4,566千円
内容	<p>①生活困窮者自立支援 「生活困窮者自立支援法」の施行により、生活に困窮し社会的に孤立している人への包括的な支援を自治体と連携して行う。また、必要に応じ貸付事業の活用を図る。 ・家計相談支援事業(受託) 生活困窮者の家計再生に向けた課題を整理、状況に応じた支援計画を作成し、きめ細かな支援を行う。 ・相談援助技術の向上のため専門研修会(中央・県内)への参加</p> <p>②相談支援員1名(市への派遣)の人件費</p>					
事業名	(27) 日常生活自立支援事業					
予算額	30年度	17,941千円	29年度	15,640千円	増減	2,301千円
内容	<p>①日常生活自立支援事業 高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理をひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員が定期的に訪問し、日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行う。また、専門員3名を配置し、利用希望者に対する早期の相談支援、困難事例への対応強化を図る。</p> <p>②職員の事例検討会、生活支援員研修会(年1回)の開催</p> <p>③専門員3名の人件費</p>					

事業名	(28) 生活福祉資金貸付事務事業					
予算額	30年度	460千円	29年度	493千円	増減	△33千円
内容	①県社協生活福祉資金の貸付事務 生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行う。					
事業名	(29) 小口資金貸付事業					
予算額	30年度	307千円	29年度	307千円	増減	0千円
内容	①市社協生活支援資金の貸付 生活困窮者、低所得者、障がい者または高齢者に対し、緊急で小口の資金を貸し付け、自立のために必要な相談支援を行う。					
事業名	(30) 城端老人福祉センター運営事業					
予算額	30年度	10,841千円	29年度	10,694千円	増減	147千円
内容	①城端老人福祉センター「美山荘」の運営 市指定管理施設として管理・運営（平成30～32年度） 入浴施設を有する集会場・趣味の場として老人福祉センターを運営管理する。 嘱託職員1名の人件費 ②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 高齢者福祉施設交流事業や高齢者サロン事業（美山荘サロン、にこにこ会）を引き続き開催する。 脳の健康教室や脳トレサロンを引き続き開催する。 脳トレを兼ねた健康マーじゃんを引き継ぎ開催する。 月に一度、自由参加のカラオケの日を開催する。 休湯日に引き続き貸室を実施。					
事業名	(31) 福野老人福祉センター運営事業					
予算額	30年度	13,401千円	29年度	14,344千円	増減	△943千円
内容	①福野老人福祉センター「さつき荘」の運営 入浴施設を有する高齢者の憩いの場として老人福祉センターを管理運営する。 嘱託職員1名の人件費 ②30年度からの休館日の見直し ・「国民の祝日」を休館日とする。 ・休館日の月曜日と木曜日は「休湯日」とし「貸室業務」は実施する。 ③利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 高齢者施設交流事業（ふれあいの日）は、内容の工夫や充実に努め利用促進に繋げる。					
事業名	(32) 福光老人福祉センター運営事業					
予算額	30年度	28,134千円	29年度	20,802千円	増減	7,332千円
内容	①福光老人福祉センター「福光温泉」の管理 高齢者の憩いと健康の増進を図るため、温泉施設を所有し運営している。 嘱託職員1名と非常勤職員8名の人件費 ②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 個室部分と自然休養村管理センター（市普通財産）も含め、集客につながる施設の活用を図る。 10人以上の福祉団体への入浴料及び休憩料の割引制度を実施し、入浴・休憩の場に加えて福祉の場としての活用を図る。					

事業名	(33) 井波社会福祉センター運営事業		
予算額	30年度 10,575千円	29年度 10,857千円	増減 Δ282千円
内容	<p>①井波社会福祉センターの管理 各種団体の集会場・趣味の場として会館を管理し、利用を促進する。 臨時職員1名の人件費</p> <p>②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 地域の方が気軽に集える「交流の場」を提供していく。 利用者の要望や感想等の「声」に耳を傾けていく。 各種団体へ利用促進を働きかける。</p>		
事業名	(34) 井口社会福祉センター運営事業		
予算額	30年度 3,805千円	29年度 8,562千円	増減 Δ4,757千円
内容	<p>①井口社会福祉センターの管理 各種団体の集会場・趣味の場として会館を管理し、利用促進に努める。</p> <p>②利用しやすく親しみのある施設運営の取組み 地域の方が気軽に集える「交流の場」を提供します。 利用者の要望や感想等の「声」に耳を傾け、利用者満足に努める。 地理的には、南砺市の中心であり、交通の利便性の良いところなど各種団体へPRし、利用促進に努める。</p>		
事業名	(35) すばーく福野運営事業		
予算額	30年度 1,638千円	29年度 1,653千円	増減 Δ15千円
内容	<p>①すばーく福野の運営 高齢者の生きがいづくり及び健康増進を目的として屋内ゲートボール場を管理運営する。 ※管理運営業務は福野ゲートボール協会へ委託する。</p> <p>②利用促進のための取組み 高齢者がゲートボールを通して健康でいきいきとした生活を送れるよう、初心者を対象にしたゲートボール教室を引き続き開催して、ゲートボール人口や底辺の拡大を図り、ひいては施設利用の促進に繋げる。</p>		
事業名	(36) ホームヘルプ事業		
予算額	30年度 16,812千円	29年度 15,219千円	増減 1,593千円
内容	<p>①五箇山ホームヘルプステーションの運営、管理 市指定管理施設として受託（平成29～35年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準該当訪問介護 ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除、洗濯、買物などの生活援助を行う。 ・介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業 利用者が自力で困難な行為について、ホームヘルパーによるサービスを提供する。 ・基準該当障害福祉サービス 障害者の日常生活及び社会を総合的に支援する法律に基づき、居宅において日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助、相談及び助言を行う。 ・職員3名と登録ヘルパーの人員費 管理車両3台 ・介護請求等の事務事業 国保連へ介護給付費請求や利用者の負担金請求事務など介護保険サービスにかかる事務を行う。職員0.5名の人員費 デイサービス事業と経費は折半 		
事業名	(37) デイサービスセンター運営事業		
予算額	30年度 100,098千円	29年度 95,486千円	増減 4,612千円
内容	<p>①平、上平、利賀デイサービスセンターの運営、管理 市指定管理施設として受託（平成29～35年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型通所介護 通所介護施設で、入浴、食事などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う。 		

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業 通所介護施設で、日常生活上の支援などを行う共通のサービスと、生活機能向上活動の場を提供する。 ・基準該当障害福祉サービス 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、日常生活上の世話や機能訓練、相談及び助言を行う。 ・平高齢者生活福祉センター「つつじ荘」の施設管理 職員6名と登録職員の人件費 管理車両4台 ミニホイールローダー1台 ・上平サービスセンターの施設管理 職員4名と登録職員の人件費 管理車両3台 ・利賀高齢者生活福祉センター「ネイトピア喜楽」の施設管理 職員4名と登録職員の人件費 管理車両3台 ・介護請求等の事務事業 国保連へ介護給付費請求や利用者の負担金請求事務など介護保険サービスにかかる事務を行う。職員0.5名の人件費 ホームヘルプ事業と経費は折半 		
事業名	(38) 生活支援ハウス運営事業		
予算額	30年度 7,152千円	29年度 6,582千円	増減 570千円
内容	<p>①生活支援ハウスの運営、管理 市指定管理施設として受託（平成29～35年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援ハウスの施設管理及び居住者の状況把握を行う。 ・職員1名の人件費 		